MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

NEWS RELEASE

（開発 No.1503）

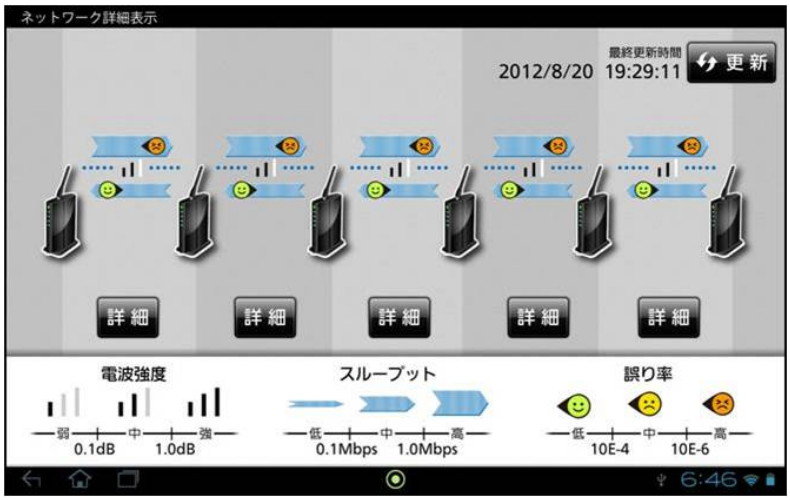
2015 年 1 月 28 日
三菱電機株式会社

置くだけで監視カメラネットワークを構成

仮設用途対応「監視カメラ向け無線ネットワーク」を開発

三菱電機株式会社は、マルチホップ通信技術を適用した仮設用途対応の「監視カメラ向け無線ネットワーク」を開発しました。マルチホップ機能を備えた無線 LAN 内蔵の無線監視カメラを複数台設置することで、電源や回線の工事なしに監視カメラのネットワークを構築・運用できます。

無線監視カメラ



電波の見える化画面

開発の特長

1. マルチホップ機能により、敷設工事不要で監視カメラネットワークを簡単に構築

- 映像データをバケツリレー方式で伝送するマルチホップ機能を採用し、無線 LAN 同士のみでの通信を実現
- バッテリー駆動により持ち運びが容易となり、利便性を向上
- 無線回線の状況に応じて伝送量を制御することで映像の途切れを防止し、監視カメラネットワークの信頼性を確保

2. 電波状況の見える化により、設置場所や障害発生場所を容易に特定

- 電波状況が簡単に分かるユーザーインターフェースを開発
- タブレット端末 1 つで映像伝送に最適な無線監視カメラの設置場所や障害発生場所を瞬時に特定し、専門知識がなくても監視カメラネットワークの構築から運営までを容易に実現

報道関係からのお問い合わせ先	〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号　TEL 03-3218-2359　FAX 03-3218-2431 三菱電機株式会社　広報部

開発の背景

近年、マラソン大会や野外コンサートなど人が多く集まるイベントにおいても、安全・安心確保の手段として映像監視システムの導入が求められています。一方、短期間のイベントであるがゆえに、電源やインターネットの回線敷設は技術・コストの両面で難しい状況にあります。

当社は今回、無線 LAN にマルチホップ機能を付加し、敷設工事不要の無線監視カメラネットワークを開発しました。設備投資を抑制しながら、安全・安心の確保に貢献します。

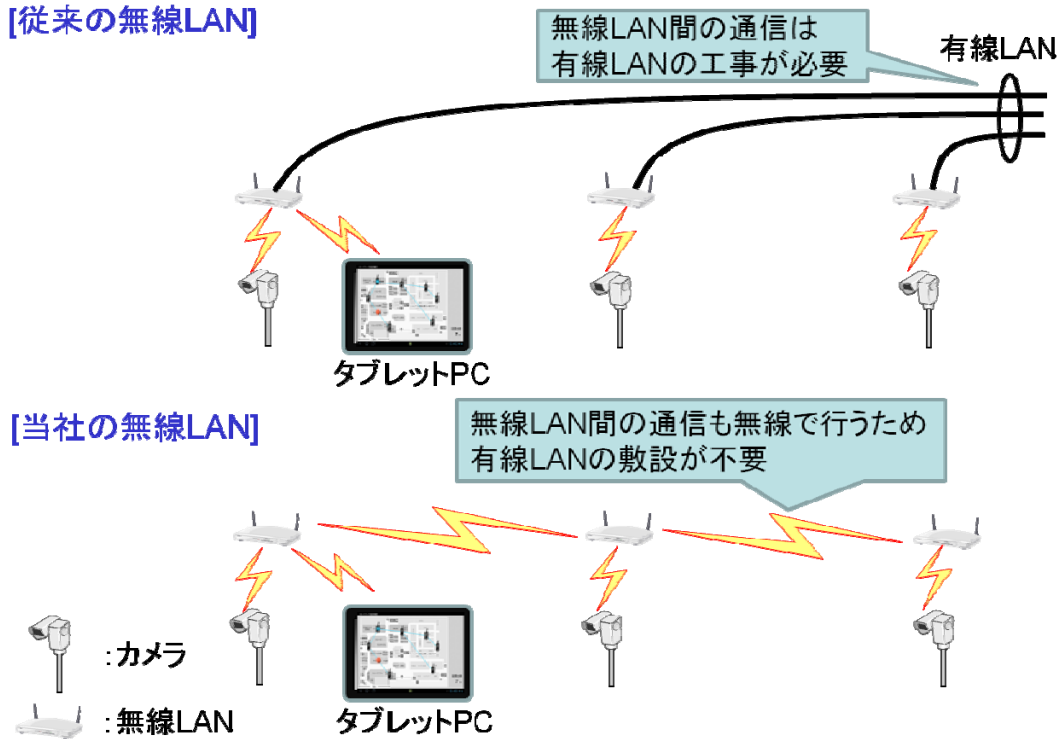
また、イベントだけでなく、既設の有線監視カメラネットワークを補完する目的での導入もでき、様々な場面でのセキュリティー強化が期待できます。

特長の詳細

1. マルチホップ機能により、敷設工事不要で監視カメラネットワークを簡単に構築

従来、無線 LAN を利用するためには有線の LAN ケーブルを敷設し、無線 LAN の電源を確保する必要がありましたが、有線 LAN は、回線の入手が困難であったり、敷設費用が高額であるという課題を抱えていました。今回、無線 LAN にマルチホップ機能を加えることで無線 LAN 同士での通信を可能にし、有線 LAN の敷設工事を不要としました。同時に、バッテリー駆動とすることで、電源などの工事不要の簡単設置を実現します。

また、マルチホップ機能により無線回線の状況に応じて伝送量を制御し、最適な伝送ルートを選択することで途切れなく映像を伝送することができ、監視能力の強化につながります。



2. 電波状況の見える化により、設置場所や障害発生場所を容易に特定

無線監視カメラネットワークを構築する際に、専門知識がなくても監視カメラの設置場所を決められるように、各監視カメラの無線回線品質をタブレット端末にデータベース化し、無線ネットワーク全体の状況を可視化しました。

また、設置後に回線状況が劣化した場合にも瞬時に障害発生場所を特定し、タブレット端末に表示するので、専門家でなくても容易に対策を打つことができます。

開発担当研究所

三菱電機株式会社　情報技術総合研究所　業務部
〒247-8501　神奈川県鎌倉市大船五丁目１番１号
FAX　0467-41-2142
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/randd/inquiry/index_it.html